

携帯電話が つながらない 地域の 環境改善に 取り組んで います

市内には、携帯キャリアサービス4社(NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル)の全てが利用できない地域(不感地域)が10地域あります。不感地域では、災害など緊急時に連絡が取れないなど、さまざまな問題が懸念されています。

安芸高田市内の不感地域

※2023年8月時点で72世帯が居住

美土里町	生田	内山地域の一部
		上青地域の一部
		智教寺地域の一部
高宮町	本郷	程原地域の一部
		奈良谷地域の一部
高宮町	船木	吉広地域の一部
		用地地域の一部
		歌ヶ谷地域の一部
高宮町	川根	篠原地域の一部
		栃原地域の一部

アンテナ整備に向けた取り組み

本市の実態を国に訴えながら、不感地域に居住する方の暮らしの安全確保に向けて取り組んでいます。

携帯電話等エリア整備事業へ参画

市内の全不感地域72世帯のうち、半数以上の世帯が居住しているのが高宮町船木の用地地域です。この地域のアンテナを市が整備し、通信事業者に貸し付ける国の補助事業に参画する意向を示しました。

不感地域解消に向けた要望書を提出

2022年および2023年7月に総務省へ「携帯電話不感地域の解消」に関する要望書を提出しました。

不感地域の方へのサポート

市の補助金制度

安芸高田市光ネットワークを利用してWi-Fi環境を整備し、携帯電話による通信手段を確保する場合に補助金を支給しています。不感地域に居住する方は、ぜひ活用してください。

- **通信費の補助**
市が敷設したあじさいネット[®]でWi-Fi環境を整備した場合に、通信費の半額を補助します。
- **Wi-Fiルーター購入費の補助**
Wi-Fi環境を整備するために必要なルーターの購入費を半額補助します。

☎ 企画調整係 ☎ お太助フォン 42-5612



Hi! School

吉田高校と向原高校の
特色ある活動をシリーズで紹介します。

吉田高校

イベントを通して地域と連携を深め、学びを促進

2020年から探究科の学習成果発表として始まった「みつや学フェスタ」。今年は10月15日(日)の10:30から、道の駅「三矢の里あきたかた」で開催します。道の駅と吉田高校が共同開発した、こだま梨サイダーとぶどうジュース『青春の一滴』の販売、生徒制作によるドレスのファッションショーの他、子どもたちに向けた企画も準備中です。地域の方に取り組みの成果を伝えるのはもちろん、道の駅を訪れた市外の方に、地域社会に溶け込んだ吉田高校の存在をアピールします。

リーダーとして、全体のまとめ役を務めています。小さな子どもたちにも来てもらいたいので、9月末ごろに保育園と幼稚園を訪問してPRする予定です。多くの方に来ていただけるよう頑張ります。

幅広い年齢層の方が来てくださると思うので、接し方に気を付けたいと思っています。自分の家族に日頃の成果を見せる場でもあるので、笑顔で楽しんで取り組んでいるところを見せたいです。

地域創造ゼミ2年
國司 結奈さん



地域創造ゼミ2年
増岡 舞さん

「みつや学フェスタ」の
最新情報はこちらから



昨年の「みつや学フェスタ」の様子

広島県立吉田高等学校 吉田町吉田719-3 ☎42-0031



X(旧Twitter)



企業に ズームイン

お仕事を通じて市の可能性を発見!

サテライトオフィス編

株式会社マウンテック / 株式会社デジコム

電気技術開発の「マウンテック」山崎さんと、電気通信事業などを行う「デジコム」甲斐さんが3年前から協力し、農業の生産性向上を目指した取り組みを進めています。具体的な目的は、IoT(さまざまなモノをインターネットにつなげる仕組み)を活用して農業に革新をもたらすこと。「安芸高田市に休耕地が増え続けている問題を解決させたい。高齢になっても農業を続けられるシステムを構築できれば」と甲斐さん。山崎さんは「これまで認知症予防の機械を大学と共同開発するなどしてきました。培ってきた技術を農業に役立てたい」と話します。

現在は自ら野菜を栽培し、商品開発も計画。地元の方と交流しながら、持続可能な農業を目指します。



「株式会社マウンテック」代表取締役 山崎 勇さん(右)
「株式会社デジコム」代表取締役 甲斐 健さん(左)



トマトを使った加工品やハブ草茶の製造にも、これから取り組んでいくとのこと。

株式会社マウンテック
株式会社デジコム
向原町戸島1916(2社共同の拠点)